

平成21年度3月補正予算（第9号）の概要

1 予算規模等

今回の補正予算は、地域情報通信基盤整備事業、上部東西線改良事業（街路）等の公共事業をはじめ、生活路線維持運行対策費、子ども手当事務費等の施策費、単独事業及び経常経費の過不足について予算措置しています。

この結果、一般会計では、補正額1億1,866万円の減、補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ442億7,441万3千円となり、対前年度同期比は、21億4,674万3千円、5.1%の増となっています。

また、特別会計では、

- (1) 平尾墓園事業特別会計が、補正額2,000万円の減、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ1億2,408万円となり、対前年度同期比は9,522万6千円、330.0%の増
- (2) 公共下水道事業特別会計が、補正額3億3,990万2千円の減、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ79億5,522万6千円となり、対前年度同期比は、8億8,360万7千円、12.5%の増
- (3) 介護保険事業特別会計が、補正額1億3,298万3千円の増、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ104億5,801万8千円となり、対前年度同期比は、3億8,725万5千円、3.8%の増

一般会計、特別会計合わせた補正額は、3億4,557万9千円の減、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ779億4,457万1千円となり、対前年度同期比は、29億5,289万1千円、3.9%の増となっています。

2 一般会計補正予算の主な事業

(1) 公共事業

地域情報通信基盤整備事業（企画部 情報政策課）

1 事業目的

ハイビジョン対応テレビが普及する中、ケーブルテレビ自主放送のハイビジョンデジタル化が市民から求められており、整備を図る。また、自前のIP電話サービスの構築を図る。

2 補正の内容 補助金の追加

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		22,644	16,833	39,477
財源内訳	国	21,047	16,833	37,880
	一財	1,597	0	1,597

(株)ハートネットワークのケーブルテレビ自主放送のハイビジョンデジタル化整備及びIP電話サービスの整備に係る補助金。

(1) 補助金 16,833千円

3 補正に係る財源内訳

(1) 国100% 16,833千円

上部東西線改良事業（街路）（建設部 道路課）

1 事業目的

上部地区を東西に結ぶ、国道11号のバイパス機能を持った路線であるとともに、テクノパーク・広瀬公園・山根公園を直線的に結ぶ路線であることから、生活支援、観光客の誘致等の観点から、重要な路線であり整備を図る。

2 補正の内容 用地費及び委託料等の追加

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		12,000	25,000	37,000
財源内訳	国	0	13,750	13,750
	市債	11,400	10,600	22,000
	一財	600	650	1,250

国庫補助の内示に伴い、用地費及び委託料等の追加。

(1) 用地費 23,200千円

A=1,840 m²

(2) 委託料 600千円

登記事務業務委託一式

(3) 事務費等一式 1,200千円

3 補正に係る財源内訳

(1) 国55% 13,750千円

(2) 市債95% 10,600千円

(3) 一財 650千円

小・中学校エコ改修事業（教育員会事務局 学校教育課）

1 事業目的

文部科学省において、太陽光パネルの設置をはじめとする「スクール・ニューディール構想」が策定された。地球温暖化対策への貢献、光熱費の削減、環境教育への活用等の効果を考え、全ての小・中学校に太陽光パネルを設置する。

2 補正の内容 工事費の追加

(単位：千円)

事業費(小学校)		補正前	今回補正額	補正後
		349,069	△157,069	192,000
財源内訳	国	330,600	△186,600	144,000
	市債	18,400	29,600	48,000
	一財	69	△69	0
事業費(中学校)		補正前	今回補正額	補正後
		189,410	△93,410	96,000
財源内訳	国	179,363	△107,363	72,000
	市債	10,000	14,000	24,000
	一財	47	△47	0

国の補助事業費の減額に伴い、事業計画を変更し、屋上防水工事及び蛍光灯更新工事を実施せず、太陽光パネル設置工事のみとしたため、工事費を減額する。

(1) 工事費 △250,479千円 (小学校△157,069千円、中学校△93,410千円)

3 補正に係る財源内訳

- (1) 国 △293,963千円 (小学校 △186,600千円、中学校 △107,363千円)
(安全・安心な学校づくり交付金及び地域活性化・公共投資臨時交付金)
- (2) 市債 43,600千円 (小学校 29,600千円、中学校 14,000千円)
- (3) 一財 △116千円 (小学校 △69千円、中学校 △47千円)

公共事業は、これらの事業で、2億4,304万6千円の減となっています。

(2) 施策費

生活路線維持運行対策費（経済部 運輸観光課）

1 事業目的

公共輸送手段を必要とする市民にとって不可欠な生活交通路線を維持するため、「新居浜市生活交通バス路線維持・確保対策事業費補助金交付要綱」に基づき助成する。

2 補正の内容 補助金の追加

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		72	46,744	46,816
財源内訳	県	0	11,202	11,202
	一財	72	35,542	35,614

補助対象期間（平成20年10月1日～21年9月30日）の路線バスの運行実績がまとまり、補助金の額が確定したことにより、補助金を追加する。

(1) 補助金 46,744千円 周桑営業所～マイントピア別子等8路線11系統

3 補正に係る財源内訳

- (1) 県 1/2 (11,202千円)
- (2) 一財 (35,542千円)

子ども手当事務費（福祉部 児童福祉課）（新規）**1 事業目的**

子ども手当の円滑な実施を図るためのシステム開発等の整備を行う。

2 補正の内容 委託料等の追加

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
			0	11,003
財源内訳	国	0	10,537	10,537
	一財	0	466	466

子ども手当実施に係るシステム改修経費等及び事務費。

(1) 委託料 10,537千円

(2) 時間外勤務手当 466千円

3 補正に係る財源内訳

(1) 国 100% 10,537千円

(2) 一財 466千円

緊急雇用介護雇用プログラム事業費（福祉部 介護福祉課）（新規）**1 事業目的**

高齢化の進展に伴い、介護従事者は必要な人材となっているが、重労働・低賃金等から離職率が高く、それゆえ在職者に負担が増えていくといった悪循環で、新居浜市内の介護事業者は人材の確保に大変苦慮している。

このような介護分野の人材の育成・安定的雇用の確保を図る取組みとして、愛媛県の緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用して、「働きながら資格をとる」介護雇用プログラムを実施する。

2 補正の内容 委託料の追加

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
			0	10,073
財源内訳	県	0	10,073	10,073

求職者を有期雇用契約労働者として雇用し、介護事業所での就労と資格養成校への通学により、介護福祉士の資格が取得できる事業を介護事業所に委託する。

(1) 委託料 10,073千円

3 補正に係る財源内訳

(1) 県 10/10 10,073千円

施策費は、これらの事業で、5,473万7千円の増となっています。

(3) 経常経費

生活保護費（福祉部 福祉課）

1 事業目的

生活扶助、医療扶助等に要する経費

2 補正の内容 扶助費の追加

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		2, 031, 355	96, 000	2, 127, 355
財源内訳	国	1, 516, 016	54, 750	1, 570, 766
	県	101, 567	4, 800	106, 367
	諸収入	10, 000	23, 000	33, 000
	一財	403, 772	13, 450	417, 222

(1) 扶助費 96, 000千円

3 補正に係る財源内訳

(1) 国 54, 750 千円

(2) 県 4, 800 千円

(3) 諸収入 23, 000 千円

(4) 一財 13, 450 千円

経常経費は、1億1, 613万9千円の増となっています。

(4) 単独事業

単独事業は、1, 649万円の減となっています。

3 事業を賄う財源（款別歳入）

(単位：千円)

款	補正前の額	今回補正額	補正後
市 税	17, 907, 000	250, 000	18, 157, 000
地方交付税	4, 984, 106	475, 845	5, 459, 951
国庫支出金	6, 005, 694	△149, 262	5, 856, 432
県支出金	2, 767, 114	13, 974	2, 781, 088
財産収入	59, 439	138, 852	198, 291
繰入金	1, 840, 854	△587, 090	1, 253, 764
諸収入	1, 813, 867	15, 921	1, 829, 788
市 債	4, 624, 108	△276, 900	4, 347, 208
計	44, 393, 073	△118, 660	44, 274, 413

4 特別会計の補正内容

(※財源内訳は今回補正に係る財源のみ記載しています。)

(1) 平尾墓園事業特別会計

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		144,080	△20,000	124,080
財源内訳	市債	130,000	△20,000	110,000

・工事の入札減少金に伴う減額補正

(2) 公共下水道事業特別会計

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		8,295,128	△339,902	7,955,226
財源内訳	使用料	1,210,000	△10,000	1,200,000
	市債	4,749,400	△340,700	4,408,700
	繰入金	1,542,952	10,798	1,553,750

・補償金免除繰上償還の減額に伴う償還金の減額補正

(3) 介護保険事業特別会計

(単位：千円)

事業費		補正前	今回補正額	補正後
		10,325,035	132,983	10,458,018
財源内訳	国	2,482,284	43,230	2,525,514
	県	1,415,450	20,384	1,435,834
	支払基金交付金	2,936,264	48,922	2,985,186
	財産収入	0	63	63
	繰入金	1,480,809	20,384	1,501,193

事業所の増加に伴う利用サービスの増による保険給付費の追加補正等

- ・保険給付費（163,076千円）
 - 介護サービス等諸費
 - 審査支払手数料
 - 高額介護サービス等費
- ・基金積立金（△30,093千円）
 - 介護給付費準備基金積立金